

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	エッジ国際美容専門学校
設置者名	学校法人 前田文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
美容専門課程	美容科（昼間）	夜・通信	1170	160	
		夜・通信			
ビューティビジネス専門課程	ビューティビジネス科（昼間）	夜・通信	640	80	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「令和6年度シラバス及び学科一覧」を事務室で希望者に公開している
----------------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	エッジ国際美容専門学校
設置者名	学校法人 前田文化学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

理事名簿一覧を事務室で希望者に公開している

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 取締役	3年 始期 R6. 5. 30 終期 R9. 5. 29	組織運営体制への チェック機能
非常勤	高等学校職員	3年 始期 R6. 5. 30 終期 R9. 5. 29	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	エッジ国際美容専門学校
設置者名	学校法人 前田文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教務会議にて討議し、校長にて決定を行う。</p> <p>3月初旬までに決定を行い、4月上旬に事務室にて公表をしている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>「令和6年度シラバス及び学科一覧」を事務室で希望者に公開している</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各科目の出席日数が3分の2以上（美容実習は5分の4以上の出席）また欠席の日数が出席すべき範囲内であっても、欠席の日数に応じた補習を行うこと。</p> <p>各学期に試験を行い、出席状況、授業態度、提出物を総合的に勘案して A～E の評価で判定し、成果が認められる場合には D 判定以上の判定で履修が終了したものと認定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は考査の素点を80%とし、残りの20%を「関心・意欲・態度」「知識・理解」に基づいて行う。 5段階評価の基準は以下のとおりである。 A 評価 100～80 B 評価 79～65 C 評価 64～45 D 評価 44～30 E 評価 29～0 科目のGPに科目の単位数を掛けた値を全て合算してその値を履修科目の単位数で割ったもので下位1/4を算出する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>「成績基準と卒業認定基準」を事務室にて希望者に公表している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目の出席日数が3分の2以上（美容実習は5分の4以上の出席）であり、また欠席の日数が出席すべき範囲内であっても、欠席の日数に応じた補習を行い2010時間以上の授業数をクリアすること。 最終学年3学期の試験に60点以上の者に修了を認定する。</p> <p>美容師法に基づきパーマネントウェーブ、結髪、化粧等の方法によりお客様の容姿を美しくする本来の業務と、公衆衛生の向上に資する社会的責務を全うし、今後のニーズに適応、貢献できる美容師を育成する。お客様を心よりもてなすホスピタリティー精神に満ちた接客業務を心得ることと、プロフェッショナル意識を高めることを目的にインターンシップを行う。美容理論、美容技術を含めた必須科目と一般教養、専門科目を含めた科目のカリキュラムをベースに、厚生労働大臣の指定するところによる美容師として必要な知識及び技能を習得し、国家試験に臨み全員が美容師免許取得を目指す。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>「成績基準と卒業認定基準」を事務室にて希望者に公表している。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	エッジ国際美容専門学校
設置者名	学校法人 前田文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	令和5年度決算書及び事業報告書を事務室に備え付け
収支計算書又は損益計算書	令和5年度決算書及び事業報告書を事務室に備え付け
財産目録	令和5年度決算書及び事業報告書を事務室に備え付け
事業報告書	令和5年度決算書及び事業報告書を事務室に備え付け
監事による監査報告（書）	令和5年度決算書及び事業報告書を事務室に備え付け

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	美容科（昼間）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2020 単位時間/単位	830 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1190 単位 時間/単位
			2020 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		26人	0人	5人	11人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 2年間で2,020時間の履修を行うよう、教務会議にて討議し、校長による決定を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は考査の素点を80%とし、残りの20%を「関心・意欲・態度」「知識・理解」に基づいて行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各科目の出席日数が3分の2以上（美容実習は5分の4以上の出席）また欠席の日数が出席すべき範囲内であっても、欠席の日数に応じた補習を行うこと。 最終学年3学期の試験に60点以上の者に修了を認定する。
学修支援等
（概要） 各クラス担任制をはじめ保護者を交えた三者面談を実施して、包括的な支援を行う。 希望者には長期休業等に個別での授業を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (%)	16人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 美容室、アイラッシュサロン			
（就職指導内容） 業界理解を深めるための機会をつくり、企業説明会、個人面談の実施、面接対応などを行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家資格、ネイリスト検定、メイクアップ検定、ビューティビジネス実務検定 色彩検定、化粧品検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	1人	2.6%
（中途退学の主な理由） ケガ		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、家庭訪問、保護者面談の実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生		ビューティビジネス 専門課程	ビューティビジネス科 (昼間)					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	1060 単位時間/単位		250 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	810 単位 時間/単位
				1060 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人		1人	0人	3人(美容科 の内数)	5人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 1年間で800時間の履修を行うよう、教務会議にて討議し、校長による決定を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は考査の素点を80%とし、残りの20%を「関心・意欲・態度」「知識・理解」に基づいて行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 各科目の出席日数が3分の2以上、また欠席の日数が出席すべき範囲内であっても、欠席の日数に応じた補習を行うこと。 3学期の試験に60点以上の者に修了を認定する。
学修支援等
(概要) 各クラス担任制をはじめ保護者を交えた三者面談を実施して、包括的な支援を行う。 希望者には長期休業等に個別での授業を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (%)	2人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） ネイルサロン			
（就職指導内容） 業界理解を深めるための機会をつくり、企業説明会、個人面談の実施、面接対応などを行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ネイリスト検定、メイクアップ検定、ビューティビジネス実務検定、色彩検定、化粧品検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、家庭訪問、保護者面談の実施		



②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科	60,000 円	620,000 円	590,000 円	施設充実費、校費、教材費
ビューティ ビジネス科	50,000 円	630,000 円	460,000 円	施設充実費、教材費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室にて希望者に公開する。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 関係企業と卒業生によって3名以上で構成する。原則として1年間に1回委員会を実施。評価委員会前に学校で行った自己点検評価の資料を委員に必ず提出する。 主な評価項目は、学校運営・教育活動等の評価を実施している。結果報告は、校長および教職員へ報告され、課題や改善点については、翌年度以降に修正するよう努力し、国家試験の合格率100%を目標とした指導ができるよう学校運営に反映するよう取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ダリア	2年 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業
株式会社コスモ	2年 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業
株式会社前田	2年 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業
BeautySpot BeBe	2年 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室にて希望者に公開する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス： <a href="http://edge-ibc.com">http://edge-ibc.com</a> 事務室で希望者に公開する。
---